

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館は、東京都とともに、オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の東京を文化の面から盛り上げる「Tokyo Tokyo FESTIVAL」を展開しています。

文化でつながる。未来とつながる。

TokyoTokyo
FESTIVAL

東京都現代美術館

MOTコレクション

いま—かつて 複数のパースペクティブ

2020年3月14日(土) - 6月14日(日)

東京都現代美術館では、戦後美術を中心に、近代から現代にいたる約5400点の作品を収蔵しています。こうした収蔵作品を紹介する「MOTコレクション」展では、会期ごとに様々な切口を設けて作品を展示し、現代美術の持つ多様な魅力の発信に努めています。

今回は、約3年間の改修休館の間に収蔵された作品およそ400点のなかから寄贈作品を中心に、1930年代から近年の作品まで約160点をご紹介します。過去と現在、美術館とコレクターといった複数の視点の交差をとおして、コレクションの意味を考えます。

*本展は、第3期(2019年11月16日-2020年2月16日)の作品を一部のみ展示替えして構成しています。

開館25周年を記念して3月14日(土)-22日(日)はMOTコレクションが無料でご覧いただけます。

出品点数

当館収蔵作品の中からおよそ160点を予定

出品作家

岡本信治郎、オノ・ヨーコ、オノサト・トシノブ、草間彌生、新海覚雄、末松正樹、豊嶋康子、藤田嗣治、松江泰治、mamoru、宮島達男、向井潤吉、ブレンダ・ファハルド ほか

展覧会概要

会期 2020年3月14日(土) - 6月14日(日)
休館日 月曜日(5月4日は開館)、5月7日
開館時間 10:00 - 18:00(展示室入場は閉館の30分前まで)
観覧料 一般500円(400円) / 大学生・専門学校生400円(320円) / 高校生・65歳以上250円(200円) / 中学生以下無料
※()内は20名様以上の団体料金
※企画展「オラファー・エリアソン ときに川は橋となる」「カディスト・アート・ファウンデーションとの共同企画展 もつれるものたち」「ドローイングの可能性」のチケットでMOTコレクションもご覧いただけます。
会場 東京都現代美術館 コレクション展示室 1F / 3F
主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
企画担当 事業企画課 事業係 丹羽晴美、藤井亜紀、鎮西芳美、水田有子

1

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 中島・工藤
TEL: 03-5245-1134(直通) / FAX: 03-5245-1141
E-MAIL: mot-pr@mot-art.jp WEB: <https://www.mot-art-museum.jp>

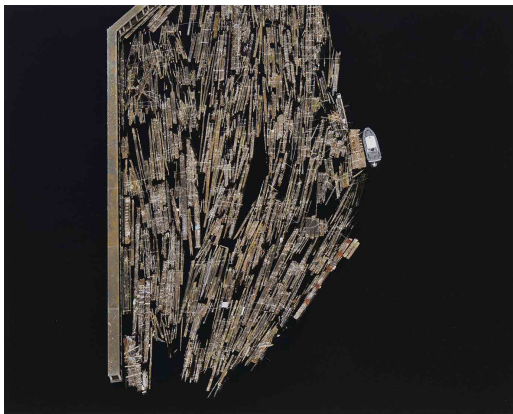
MOT+
MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO
東京都現代美術館



1. 岡本信治郎《銀ヤンマ（東京全図考）》1983



2. 草間彌生《死の海を行く》1981



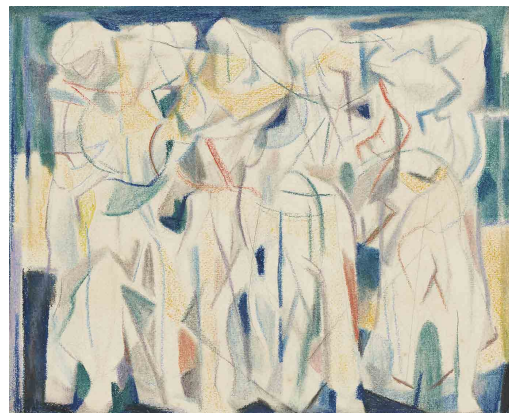
3. 松江泰治《JP-13 02》2017



4. 向井潤吉《影（蘇州上空）》1938



5. 豊嶋康子 作品展示風景 「MOTコレクション第3期
いま—かつて 複数のパースペクティブ」2019
Photo: 柳場大



6. 末松正樹《[1945.4.4]》1945

広報用画像として本リリースに掲載している写真をご用意しております。
ご希望の際はキャプションについている番号を、広報までお知らせください。

同時開催 2020年3月14日(土) - 6月14日(日)

企画展

「オラファー・エリアソン ときに川は橋となる」

「カディスト・アート・ファウンデーションとの共同企画展 もつれるものたち」

「ドローイングの可能性」

ガイドスタッフによるギャラリートーク

ガイドスタッフが、「MOT コレクション」の作品解説を行います。

日時：2020年3月21日(土) - 6月14日(日) 毎日 14:00 - (所要時間は1時間程度)

集合場所：コレクション展示室入口

会場：東京都現代美術館 コレクション展示室 1F / 3F

※ 要コレクション展チケット

※ 途中参加可

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 中島・工藤

TEL: 03-5245-1134(直通) / FAX: 03-5245-1141

E-MAIL: mot-pr@mot-art.jp WEB: <https://www.mot-art-museum.jp>